

経営比較分析表（令和6年度決算）

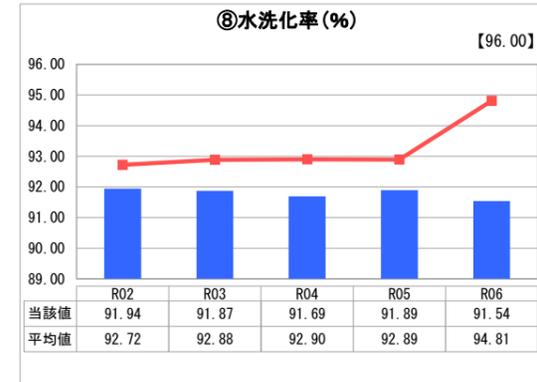
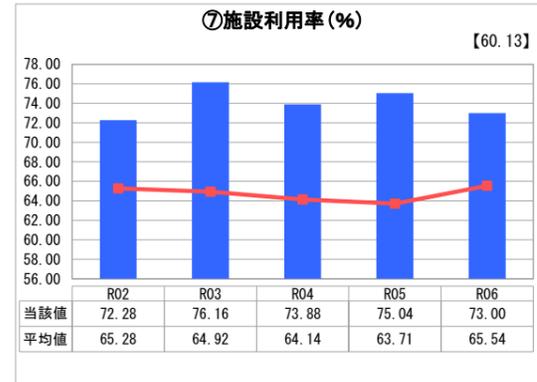
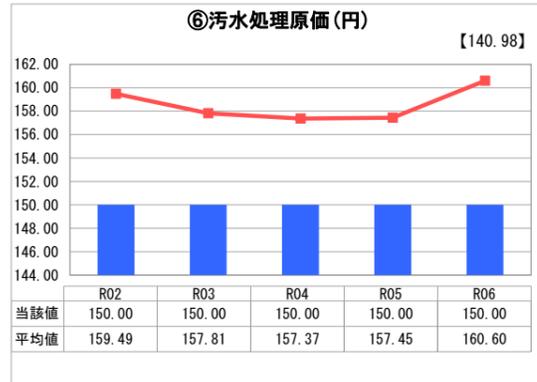
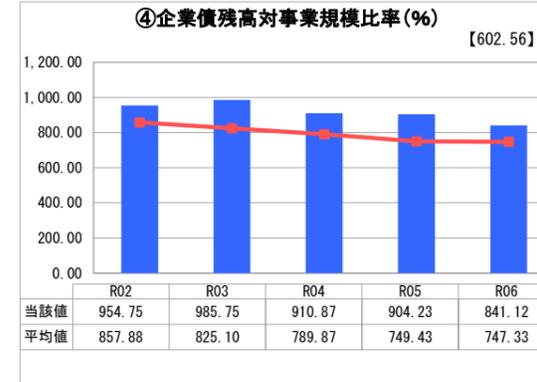
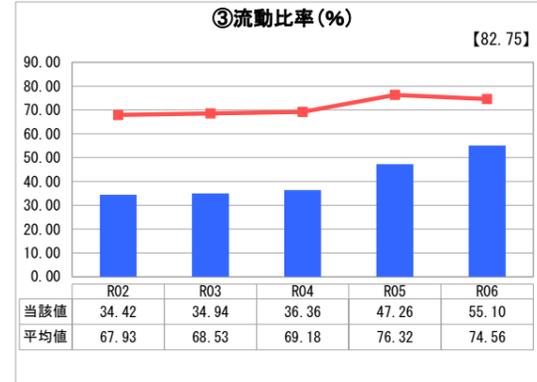
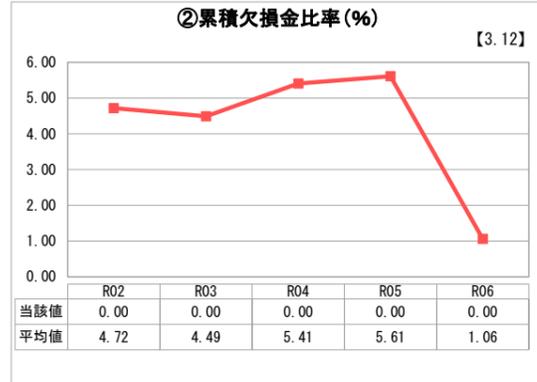
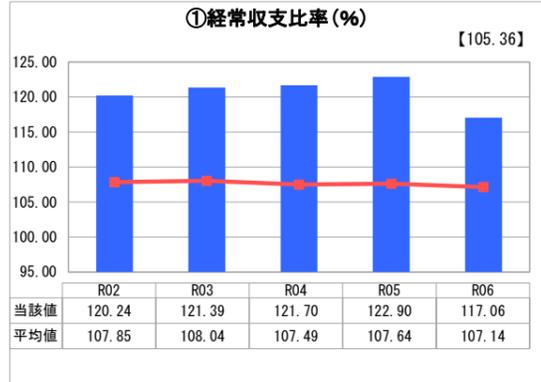
茨城県 ひたちなか市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.78	65.28	81.15	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
154,647	101.02	1,530.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
100,652	22.03	4,568.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率
 経常収支率は100%を上回り黒字を維持しており、欠損金は生じていない。

③ 流動比率
 改善傾向にあるが、依然として平均値を下回っている。支払能力の安定性を高めるため、さらなる改善が必要である。

④ 企業債残高対事業規模比率(%)
 企業債残高は減少傾向にあるが、事業規模に対する比率は平均値を上回っており、他団体と比較して債務規模が大きい。

⑤ 経費回収率、⑥ 汚水処理原価
 経費回収率が100%を下回っている。経費削減や収入確保に努めるとともに、使用料水準についても検討を進める必要がある。

⑦ 施設利用率
 概ね横ばいで推移しており、平均値を上回る水準である。

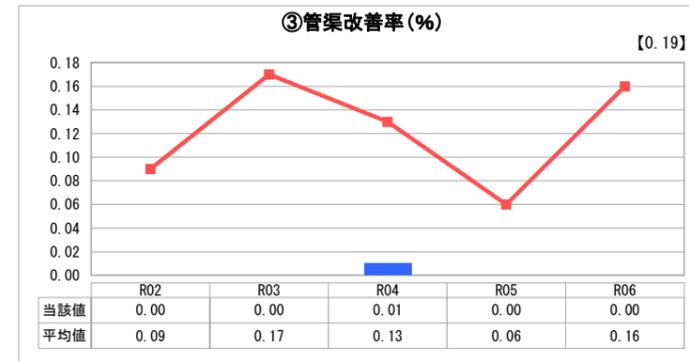
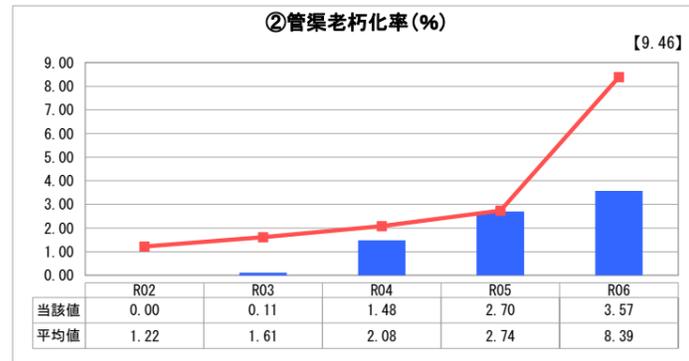
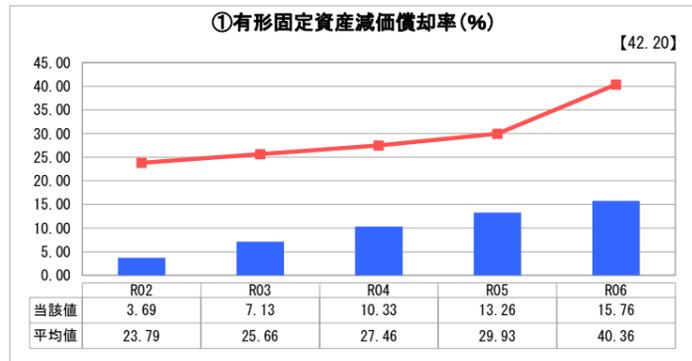
⑧ 水洗化率
 平均値を下回っているため、引き続き戸別訪問などの啓発活動を行うとともに、投資効果の高い未普及地域の整備を優先的に進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
 平均値を下回っているが、大幅に上昇しており、今後も上昇する見通しである。

② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率
 管渠老朽化率は平均値を下回る水準だが、急激に上昇しており、今後もこの傾向が続く見通しである。一方、管渠改善率は0%であり、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な管渠マネジメントを推進する必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

○ 黒字の拡大を目指し接続率の向上等による使用料収入の増加を図るとともに、使用料水準について、物価高騰や人件費上昇等の影響を分析し検討していく必要がある。

○ 市全体の人口は減少しているが、未普及地域への整備により処理人口は増加している。今後も、費用対効果を分析し、投資効果が高い地域を優先的に整備することで、処理人口の増加と増収を図る。

○ 老朽化率は、類似団体平均、全国平均に比べて低い水準であるものの、今後は急速な上昇が見込まれる。そのため、ストックマネジメント計画に基づき、処理場及び管渠の計画的な改築更新工事を進める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。